

2021年度 和歌山市立広瀬小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 永原三士

作成日 2021年5月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 地域に誇りをもってほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ってほしい

【学 校 教 育 目 標】

たくましく豊かに生きぬく子を育てる

【めざす児童（生徒）像】

心身ともに強い子ども
命を大切にする子ども
よく考える子ども
何事にもうちこむ子ども
心の豊かな子ども

前年度の学校評価

- 児童は楽しい学校生活を送っている。
- 保護者や地域と学校が連携している。
- 生き生きとしたより良い学校生活を送ってほしい。

児童の実態

- 明るく素直な子どもが多く、集団としての規律は守られている。
- 異学年の交流が進み、全校で一つのことに協力して取り組もうとする。
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確かな定着
- 個に応じた指導の工夫改善
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- 子ども同士が高まりあう集団活動の充実
- 人権教育の充実
- 児童に対する共感的理解

健やかな体の育成

- 体力向上の推進
- 基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携充実
- 中学校区における連携の推進
- コミュニティスクールとしての開かれた学校づくり

具体的な取組

- 授業のねらいやまとめを明確にし、対話的な学びの質を向上させる。
- 書くことで自分の考えを明確にし、意見交換や話し合いによる児童中心の授業スタイルに取り組む。
- 学校図書の充実と読書習慣の確立に取り組む。

- 特別活動を中心としてよりよい生活をするための実践力を育てる。
- いじめアンケートの複数回実施により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 情報モラル等について、保護者とともに学ぶ機会をもつ。
- 児童一人一人の状況を教職員全体で共有する。

- たてわり活動等による外遊びを充実させる。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。
- フッ化物洗口や歯磨き習慣を推進する。
- 感染症予防の正しい知識（手洗い・マスク・換気等）とその実践力を養う。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信する。
- 学校行事や地域の行事への相互参加、運営協力等による連携を進める。
- 中学校区における小中、小中の連携を推進・充実する。
- ゲストティーチャーや読み聞かせボランティア等の取組を進める。

指標

- ・「自分の考えを発表しようとしている」…児童90%
- ・わかる授業、子供主体の授業を実践した…児童・教師90%

- ・学校が楽しいと感じる…児童90%
- ・いじめの把握と解消率…100%
- ・月1回の「広瀬の子」
- ・学期1回以上の校内委員会の実施

- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した…教師90%
- ・給食後の歯磨き…児童100%
- ・保護者や地域と連携した訓練の実施…年2回

- ・学校の様子がよく伝わった…保護者90%
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた…教師90%

◎…特に重点的に取り組むこと